

林野・車両・船舶・航空機・その他 罹災申告書

申告日を記載してください → 平成〇〇年〇〇月〇〇日

遠賀郡消防署長 様

申告者 住所 〇〇郡〇〇町〇〇1丁目1番1号
電話 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇

該当するものを○で囲んでください 氏名 Ⓜ

罹災年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日			罹災物件と申告者の関係	所有者・管理者・占有者	
罹災場所	遠賀郡〇〇町〇〇1丁目1番1号					
罹災状況	車両	運転者氏名	遠賀 太郎	購入年月	平成〇〇年〇〇月	
		用途	常用	購入金額(円)	200万 円	
		車両番号	AB12-34567	年式	平成〇〇 年式	
		車台番号	A123B-123456	その他		
		焼けた箇所	消火のためにぬれた・よごれた・こわれた箇所			
	航空機・船舶	船長・機長名		トン数	トン	
		用途・機種		就航年月	年 月	
		船機名		購入金額(円)	円	
		焼けた箇所	消火のためにぬれた・よごれた・こわれた箇所			その他
	物件名	数量	罹災の別	金額	備考	
	杉 10年生	200本	焼・消・爆・他	〇〇万 円		
			焼・消・爆・他	円		
			焼・消・爆・他	円		
			焼・消・爆・他	円		
			焼・消・爆・他	円		
保険	火災保険会社名	契約物件	契約年月日	保険金額(万円)	備考	
	〇〇生命	〇〇	H〇年〇月 〇日	1000 万円		
			年 月 日	万円		
			年 月 日	万円		

※記入要領

- 1 届出者は、罹災物件の所有者、管理者又は占有者です。
- 2 車両、船舶、航空機は1台(隻・機)ごとに申告して下さい。
- 3 「罹災状況欄」
 - (1) 車両、船舶、航空機の用途は、乗用、貨物、タクシー、機関車、客船、旅客機等の使用目的を記入して下さい。
 - (2) 物件名は、車両、船舶、航空機の積載物及び林野火災、その他の火災の罹災物件を記入して下さい。
(例 杉7年生、変圧器等)
 - (3) 「罹災の別欄」は該当するものを○で囲んで下さい。
 - ① 焼→ 燃えたもの、熱によって破損したものなど
 - ② 消→ 消火するために壊れたもの、ぬれたもの、汚れたものなど
 - ③ 他→ 煙で汚れた、運び出すとき壊れた、避難するとき壊したものなど
- 4 金額は、積載物が商品の場合はその卸値、小売値その他の物件は取得時の金額を記入する。ただし、林野火災は、罹災物件の時価額を記入して下さい。
- 5 罹災状況の物件欄が足りない場合、又は記入要領がわからない場合は消防署でお訪ね下さい。

※ 受付欄

この申告書は、消防法第34条によって提出を求めものです。
(罹災証明にも必要がありますので早急に提出して下さい。)